

デジタルレベルチェッカー LCT5 追加機能について

ご使用になる前に、必ずお読みください

製品向上のため、デジタルレベルチェッカーに搭載しているソフトウェアの仕様を変更しました。

追加機能の内容は、Ver.1.05で対応しています。
Ver.1.04以前を使用している場合、バージョンアップを行なってください。
ソフトウェアバージョンの更新については、下記にお問合せください。

システム営業部：(052) 802-2232

営業部：(052) 802-2244

本器のバージョン確認方法は、LCT5取扱説明書(詳細編)p.47「バージョン表示」をご覧ください。

変更内容

スペクトラム表示のCSV形式保存の追加

スペクトラム表示の CSV 形式保存の追加

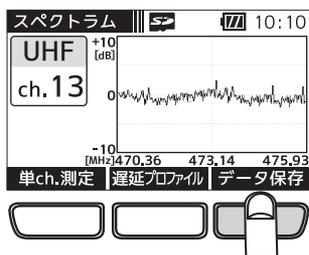
スペクトラム表示をデータ保存する際、BMP形式とCSV形式で保存することができます。
保存したデータは、受信障害予測計算・調査報告書作成システム「ビルエキスパート※Ver.7」で使用することができます。

ビルエキスパートVer.7は、一般社団法人 日本CATV技術協会の製品です。

詳しくは、一般社団法人 日本CATV技術協会のホームページをご覧ください。

- ①UHFのスペクトラム表示画面にします。
表示方法は、LCT5取扱説明書(基本編)p.11をご覧ください。
- ②スペクトラム表示画面で「データ保存」下のファンクションボタンを押すと、測定データをBMP形式とCSV形式で保存することができます。

スペクトラム表示画面



データ保存完了画面



保存したCSV形式のファイルについて

- ユーザー設定の「SDカードメニュー」のファイル選択画面に、CSV形式で保存されたファイル名は表示されませんが、本器で開くことはできません。
ファイル選択画面の表示方法は、LCT5取扱説明書(基本編)p.18をご覧ください。
- データを確認する際は、USBケーブルで本器とパソコンを接続し、パソコンでデータを開いてください。パソコンと本器の接続方法は、LCT5取扱説明書(詳細編)p.49、50をご覧ください。

※ビルエキスパートは一般財団法人 NHKエンジニアリングシステムの登録商標です。